

50. ルーイ県



ルーイ県は、バンコクから約520キロ離れた位置にあります。同県は11,425平方キロの面積を有し、北はラオス国、東はノンカーイ県、ノンブアラムプー県とウドンターニー県、南はコーンケン県とペチャブーン県、西はピッサヌローク県に接しています。

県内の大部分が山岳地帯ですが、中央には平野もあります。気候は夏季（3月から5月）には大変暑く、気温は35℃から40℃になります。冬季（11月から2月）には、気温が0℃から16℃とかなり寒くなります。また、雨季（6月から10月）には雨が多いのが特徴です。

県民の大多数が農業従事者で、主な農産物はトウモロコシ、サトウキビ、綿、麻です。そのほか商業も盛んです。これは、メコン川やフエイ川を挟んでラオスと接する地帯が約200キロにも及び、ラオスとの貿易が活発に行われてきたからです。タイからは自動車やオートバイ、建設資材、機械類や日用品などが輸出され、ラオスからは木材や農産物が輸入されています。

また、県内には“ブーグラドゥン”と呼ばれる有名な景勝地があります。ここは自然豊かな山岳で年間を通して涼しく、スギ科の樹木や高山植物なども見られます。滝がいくつもあり、美しさを際立たせています。

同県はぶどうの産地としても有名で、国内最大の栽培面積を誇ります。食用とワイン製造用のぶどうを栽培しており、県内には、“シャトー・ド・ルーイ”と呼ばれる銘柄のワインを製造する工場があります。また、有機栽培の農地も多く、観光客にも開放されており、ここでは農産品を購入することもできます。

毎年6月には、派手なゴーストの衣装と仮面を身にまとった人々が町を練り歩くピーターコン祭りが行われ、多くの観光客で賑わいます。

